

## ほおづえ会の活動について

ほおづえ会会長 石村 聖一郎(11期)

昨年の総会に於いて会長に就任し1年が経ちましたが、同窓会としての大きな活動は残念ながら実現できませんでした。ここ数年は表立った活動もなく、なにか新しい行事をしたいと考えていましたが、なかなかいいアイデアが出ず、今日に至っております。

可能性としては

- ・建物見学会(卒業生作品、著名建築家作品など。県外でも…)
- ・講演会(在校生を対象とした卒業生の講演、もしくは、著名建築家講演会)
- ・懇親会(バーベキューなど)

などでしょうか…

見学会や懇親会など、会員に募集をかける行事はなかなか参加者が集まらないようです。同窓会として学生みなさんに協力出来るような行事として、先生方と協力し、なにかできないかなと思っております。具体的になりましたら御案内いたしますので、御協力を御願い致します。他に、なにか活性化できそうな企画がありましたら御提案も御願い致します。

ほおづえ会会長としての役割で、ボウリング大会での挨拶と予餞会での挨拶があります。予餞会は卒業生一人ずつが壇上に上がり、進路と思いを述べるのですが、なかなか感動します。今年も楽しみです。



また、昨年の年度末に急遽、講師に欠員が出たということで、前期だけですが非常勤講師もさせていただき、毎週100分間を半年間でしたが、3年生のみなさんと関わることができ、とても有意義な経験をさせていただきました。

授業は教科書に沿って進めましたが、時には実務での経験を交え、又、時間が空いた時に今までの僕の設計物件の紹介もしました。教科書に沿って進めている時は「だよ～ん」とした空気でしたが、実務の話や実作の紹介をしている時にはみんな、目をきらきらさせ、興味深く聞いてくれたので、やはり、卒業生の経験を紹介するものいいんだと改めて感じました。



## ほおづえ会からのお知らせ

### facebookのお知らせ

現在facebookにある、ほおづえ会のページ(<https://www.facebook.com/hoozuekai>)ですが、「いいね!」の登録やイベントのお知らせ等ご活用いただきありがとうございます。

同窓会にまさにうってつけのfacebookですが、管理人の同級生は数人しか居ません。微妙にアナログ世代なのでしょう? 反対に既に入っていたほおづえ会関係の方でも、拘束される感じが嫌だと、早々に見切りをつけて退会された人も見かけます。あまり流行のシステムに依存せず、本来のほおづえ会サイト(<http://hoozue.org>)を充実するようにしていく必要があると感じました。

HPについてのご不明な点、企画のアイディア、または活用のアドバイス等などありましたらE-Mail:office@hoozue.orgまでご連絡いただければ幸いです。

### 住所変更の届出のお願い

現在ほおづえ会では名簿を発行しておりません。会報などの連絡・郵送のため会員1名につき、住所1つのみを管理しております。住所変更の際には、お手数ですが、下記の名簿担当幹事または事務局までご連絡ください。

e-mail:utd@ishikawa-nct.ac.jp (内田)

尚、ほおづえ会と石川高専の全体同窓会とは住所データの管理は別となっておりますので、お手数ですが住所・勤務先・電話番号などの変更や登録、発行名簿に関する問い合わせは全体同窓会の方へお願いいたします。

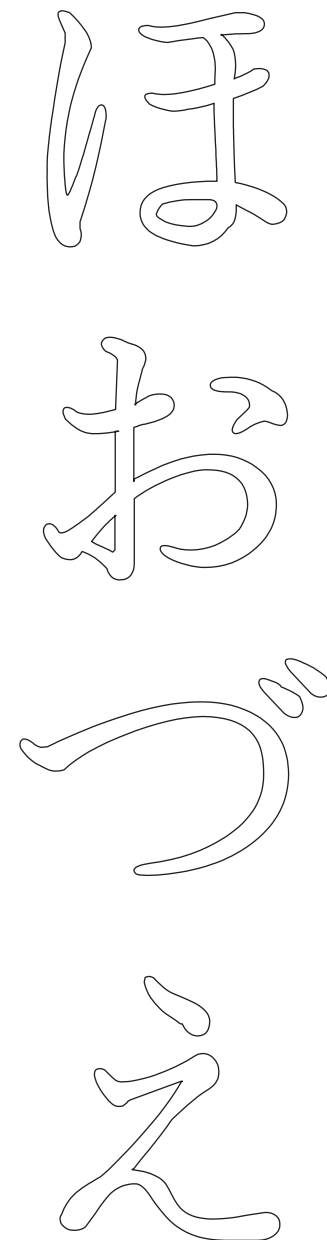
### 会費納入のお願い

ほおづえ会は、会員の皆様の会費によって運営されています。平成24年度会費(3,000円)の振込用紙を同封させていただきますので、会費納入のご協力をお願いいたします。

石川工業高等専門学校 建築学科 同窓会会報

Vol.21

<http://hoozue.org>



平成24年12月24日発行

- 企画編集 / ほおづえ会
- 発行 / ほおづえ会事務局

ほおづえ会事務局  
(石川工業高等専門学校建築学科同窓会)  
〒920-0348  
石川県金沢市松村1-131  
スタジオ・エム(株)みずほ建築事務所内  
TEL / 076-268-3974  
FAX / 076-268-3975  
E-mail / office@hoozue.org

石川高専は2015年に創立50周年を迎えます。  
なお建築学科は2020年に50周年を迎えます。

# 平成24年度 ほおづえ会 役員会報告



紀友祭の2日目にあたる平成24年10月28日、石川高専にて、石川高専全体同窓会の総会の後に建築学科同窓会ほおづえ会の役員会が10名の出席者にて行われました。

積極的な意見交換が出来、非常に有意義な会合となりました。

## ◎平成23年度 収支決算報告

(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

### <収入の部>

・会費(正 3,000円×64名)	192,000
・会費(準 1,000円×201名)	201,000
・会費(新卒業生 3,000円×26名)	78,000
・総会会費	39,000
・雑収入	
・預金利息	168
・前年度繰越金	1,399,838

合 計 1,910,006

### <支出の部>

・会議費	71,000
・事務費(ラベル,封筒)	8,488
・印刷費(会報,払込書印字)	59,100
・通信費(会報送料等)	141,320
・事業費(学校補助費)	200,000
・次年度繰越金	1,430,098

合 計 1,910,006

## ◎平成23年度 事業報告

・会報20号発行(平成23年12月)

- ・石川高専公開講座に協力(平成24年8月)
- ・ホームページの更新、充実

## ◎平成24年度 収支予算

(平成24年8月1日～平成25年7月31日)

### <収入の部>

・会費(正 3,000円×60名)	180,000
・会費(準 1,000円×200名)	200,000
・会費(新卒業生 3,000円×40名)	120,000
・前年度繰越金	1,430,098

合 計 1,930,098

### <支出の部>

・会議費	30,000
・事務費	50,000
・印刷費(会報,払込書印字)	50,000
・通信費(会報送料等)	150,000
・事業費(企画)	100,000
・事業費(学校補助)	200,000
・事業費(HP維持費)	100,000
・慶弔費	50,000
・雑費、予備費	1,200,098

合 計 1,930,098

## ◎平成24年度 事業計画

- ・会報21号発行(平成24年12月)
- ・ホームページの更新、充実
- ・新規事業(懇親会、卒業生後援、インターンシップ協力、紀友祭協力等を検討中)

## ◎平成23・24年度 役員

会 長	石 村 聖一郎(11期)	
副 会 長	山 田 雄 一(13期)	会計担当
	家 山 真(14期)	
常任幹事	山 岸 学(16期)	HP担当
	村 田 一 也(20期)	郵送担当
	大 杉 建太郎(29期)	広報担当
	東 川 佳 世(33期)	
事 務 局	内 田 伸(20期)	会員住所管理、 学校窓口担当
会 計 監 査	三 谷 創(7期)	

# インターンシップ<sup>※</sup>の受け入れについて

ほおづえ会会長 石村 聖一郎(11期)

僕が学生の時は、一つ上の先輩まで「夏期実習」という名目で企業に職場体験的な活動はありましたが、一日中掃除をしたとか、水まきばかりやってたとか…ということが多くあり、あまり意味がないということで、僕の学年から取り止めとなりました。本来は学生に職業の本質的な部分を体験してもらったり、そばで見ってもらったり、将来の参考にし、また、今後の勉強に役立ててもらうことが大事だと思います。

いつからかわかりませんが、現在は4年生が「夏期学外実習」ということで実施されています。

たまたま僕の事務所は学校から割と近く、駅からも徒歩圏内ということもあり、ここ数年毎年1人だけですが受け入れています。期間は約1週間という限られた時間ですが、できるだけ「設計事務所の仕事」を体験してもらえるよう、だいたいは模型を作ってもらいます。1週間では図面を書いてもらうと、ほんの一部しか見ることはできませんが、模型だと一通り図面を見て内容を理解し、立体を作り建物を理解することが出来、1週間で丁度完成できるのでもいいかなと思っています。



その間に設計事務所の仕事や建築についての雑談もでき、僕も貴重な体験ができます。

なかなか受け入れていただける企業も少ないようです。出来れば卒業生が「後輩を育てる」ことに御協力いただけると思います。

※インターンシップ：学生が一定期間企業などの中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行える制度。



## 会 員 近 況



### 山内 隆(4期)

久しぶりに本会総会に合わせて今年(平成24年)の紀友祭を廻ってきました。各模擬店には行列も見られてにぎわっており、在学時に模擬店を出店したことも思い出しました。

ところで、1978年に建築4期として卒業してから35年が経過しました。

金沢市内の設計事務所に16年、他建築業種に3年、それから建築設計事務所を開業して17年目となります。卒業時は、今となっては懐かしい「オイルショック」の時期と重なり、設計事務所への就職を希望した者は何人かいましたが、結局2名のみという厳しい状況でした。現在とは違った状況での厳しさがありました。

幸いにして建築業界で生き続け、建築設計・監理の仕事を永く続けられてきたのは、人に助けられ、人に恵まれてきたのではないかと考えています。

もちろん石川高専建築学科の先輩・後輩・そして何より同級生の皆には大いに助けられ、その関係は現在も続いています。なかなか助けることができないのですが、いずれは…と考えています。

また、サラリーマンではないからこそできることがいろいろありますから、できる限り社会的な活動をしたいと思い積極的に参加をしています。

現在は、NPO団体の事務局、専修学校の非常勤講師、ロータリークラブの会員、地元団体のお世話、その他団体の理事などをしてしていますが、直接の仕事以外のことが自分を精神的に支え、さらに結果的に仕事に生きているようです。

建築とは関係ないことが、建築に向かうエネルギーになっているのではないかと思うことがあります。

昨今の建築基準法の改正や運用の厳格化など、建築を取り巻く環境がかなり変わる中、悩みながらも建築設計に取り組んでいるというのが現状です。

これからはもっと楽しみながら建築に関わることができればと思っています。

さらに、平成27年には学校創立50周年となります。盛大で意義あるものとしてその年を迎えたいと思います。

### 長村 峰行(5期)

高専を卒業してから33年が経ちます。主に建築物の設計・監理の仕事をしておりますが、20代、30代は、目の前にある仕事をがむしゃらにこなしていたような気がします。数年前からスタッフ採用に接するようになり、高専との関わりが再び強くなってきました。デザインも大切ですが、建築は取り巻く環境や構造、設備に至るまで総合的な能力が要求されます。専門化が進む世の中ですが、バランスの良い能力は社会で評価されるし、必要とされます。高専卒業生はこの点が優れています。既に卒業して働いている方、まさに今学んでいる方、専門分野はもちろん、その周りの技術やデザインも分け隔て無く吸収されるようお勧めします。

昨今、高専の技術振興交流会に参加し、同窓会行事に顔を出すようになりました。微力ですが今後の高専を、建築学科を盛り上げていけたらと思います。

### 鶴見 哲也(33期)

私は石川高専卒業後、新潟大学に編入し、修士課程を修了した後、現在は金沢市の設計事務所に務めて2年目になります。

1年目主に担当した業務は、プロポーザルでした。合併特例債の期限が迫っていた影響からか異常に多くあり、提出したら2週間後にはもう次の提出日といった短期決戦の日々が続きました。その他に事務所の記念冊子や名刺デザイン等も行い、学生時代に携わったイベントポスターや卒業アルバムの作成といった自発的な活動での経験が役に立ちました。

2年目の今は、プロポーザルで獲得した小学校の設計を担当し、その他にも上司の指導を受けながら現場監理も行っています。複数の案件を抱えることの難しさの中で、仕事を滞り無くこなすバランス感覚と、質の高い仕事とするための人付き合いが重要だと感じています。

今後、プロポーザルで獲得した小学校が竣工した時が、私の設計者としての一つのポイントになるのかと思っています。良いプロセスで、良い建築ができた与大家に言われるよう頑張ります。

### 室岡 伸維(34期)

専攻科を卒業後、金沢市内の設計事務所に就職し2年7ヶ月が経ちます。これまでに店舗や住宅、公共施設などの物件に携わることができました。

最近では、新築の高齢者施設の設計・監理に携わる事ができ、施主や施工者、役所との打合わせや確認申請、補助金の申請手続きなど一つの物件を通して様々な業務を経験しました。関係者との打合わせは、毎日が練習無しの卒研発表のようで、自分の言葉で人に伝える事の難しさを痛感し苦労しています。申請関係では、初めての作業も多く、実際の作業に費やす時間よりも書籍やネットなどで何をしなければいけないのかを調べる事に時間を費やし、焦る事もあります。

また、現在の事務所は意匠・構造・設備の部署があり各部署の担当者と打合せをしながら設計を進めています。意匠系の仕事を希望していたので、高専時代は構造や環境工学等の勉強は真面目に取り組んでいませんでした。しかし、打合では高専で学んだ構造や環境工学の知識が話の理解を助けてくれる事がよくあり、意匠以外の勉強を疎かにせず真面目に勉強しておくべきだったと後悔しています。

自分はまだまだ経験が少ないので、今後も一つ一つがこれからのための勉強だと思って仕事に取り組みたいです。



## ●新任職員あいさつ

小林 勉(こばやし つとむ)

はじめまして、10月からお世話になりました建築学科の小林勉です。

ゼネコン設計部(構造・意匠共に担当)などを経て29歳で建築設計事務所を独立開業し、地域施設といった公共建築、学校・幼稚園、保育園といった教育施設、文化ホール、商業建築、集合住宅・住宅など幅広く建築実務で設計・監理を行ってまいりました。建築構法としては、鉄筋鉄骨コンクリート・鉄筋コンクリート・鉄骨造・木造在来・大断面木造・混構造まで実績があります。実務者ではありますが、同時に研究活動や大学で非常勤講師などを行ってきました。

研究テーマは、木造の建築構法のひとつである町家に見られる「せがい造り」の研究を行っています。専門分野も建築構法です。金沢の町にもまだ数多くせがい造りは見られます。市内各地の町家に点在していますので、興味があれば一緒に散策しましょう。趣味は、映画鑑賞と読書・ゴルフです。よろしくお願いたします。

## ●1年間の活動記録

- 平成24年03月 持田泰秀 先生 退職
- 平成24年04月 新カリキュラム・スタート・旧8号線側の竹藪伐採
- 平成24年05月 「建築学科第19回ポウリング大会」開催
- 平成24年05月 正門周辺の整備完了(熊澤先生監修)
- 平成24年08月 体験入学2日間実施/夏休み時期変更
- 平成24年08～10月まで 生協の食堂増改築工事 生協は2階へ
- 平成24年08月 公開講座2つ継続実施(勝手にデザコン/住宅模型)
- 平成24年10月 小林 勉 先生 着任
- 平成24年10月 津幡町どまんなかフェスタで間伐材家具抽選会
- 平成24年10月 第39回石川県デザイン展で3作品が受賞
- 平成24年10月 オダケホーム住宅コンペで3作品が受賞
- 平成24年10月 第47回紀友祭およびオープン・カレッジ+ほおづえ会役員会
- 全体同窓会総会で新会長に山内様(A4期)副会長に長村様(A5期)
- 平成24年11月 3年1泊(福井)/4年4泊(九州方面)合宿研修
- 平成24年11月 「建築学科第20回ポウリング大会」開催

## ●学内環境の変化

4月より竹藪伐採、正門周辺整備、生協増築と学内環境が変化しています。ここでは熊澤先生が監修された正門周辺整備について報告します。

「コンセプトは、日本で一番大きな校門。しかも学生の憩いや待合いの場所、イベント会場、バスの乗り合い場、展示機能を含む校内の情報提供の場と多機能でありながらも学校の顔に相応しい風格にも配慮しました。全体を印象付けている瓦チップの橙色(正面右が能登、左が小松の瓦で風合いが違います)は、学校の歴史の歩みとともに重厚さを増すものと期待します」高専だよりNo.84より



## ●石川県デザイン展とオダケホーム住宅コンペで受賞

「第39回石川県デザイン展」において、学生部門の第1部では部門最優秀賞にあたる石川県教育委員会賞、第2部では金賞及び銀賞を受賞しました。『北陸の家づくり設計コンペ』において、オダケホーム賞、北國新聞社賞、また短大の部の優秀賞を受賞しました。

### 【第39回石川県デザイン展】

■石川県教育委員会賞 作品:せせらぎMarche  
道地研究室:寺口緑、山崎未紗紀、能澤祥平、西ノ宮啓太、木戸口美幸、西出早希、長江晟那、古瀬千尋(4年～5年)

■【学生部門】金賞 作品:Building Green 谷 美咲(3年)

■【学生部門】銀賞 作品:ステップス  
大伏玄泰、北山勝哉、小林和成、齋藤彩乃、船本菜里、明庭久留実(2年)

### 【北陸の家づくり設計コンペ(オダケホーム住宅コンペ)】

■オダケホーム賞(たんぼぼ賞) 作品:Wi-Fi spot Dining  
塚本安優実(4年)

■北國新聞社賞 作品:縁側料理塾 大伏玄泰(2年)

■優秀賞(短大・専門学校の一部) 作品:団×暖 団炉裏を囲んで  
沼田汐里、永井有紗、田中寛人、山田朋美(4年4名の共同作品)

## ●報告 デザイン・コンペティション2012in栃木(小山高専)

第9回をむかえた全国高専デザコン2012は、11月10日(土)～11日(日)にかけて小山高専(栃木県)で開催されました。石川高専からは2部門で学内予選や一次審査を通過した作品が本選参加となり、計3作品が入選となりました。

今回のデザコンはメインテーマに「デザインが起つ」を掲げ、空間デザイン・構造デザイン・環境デザイン・ものづくりの4部門でアイデアやプレゼンテーション、実際の物のでき具合などを競いました。

### ■環境デザイン部門:優秀賞受賞(top3/41作品中)

タイトル:うみほたる 指導教員:石渡 博  
学生:三輪翔太、隅田知樹、横越みどり、吉田華子  
(以上4名4A)

\*「身近なエネルギーで心豊かな生活環境を」というテーマに、波発電を利用した球体形状の水上照明を提案しました。

### ■構造デザイン部門:(全59作品)

タイトル:大きなダイヤモンド 指導教員:船戸慶輔  
学生:道下龍太郎(5A)、表 卓朗、酒谷達矢、氷見智伸、平井蕉伍(4名4A)

タイトル:YUKI × Tree Mk.II(ゆきつりまーくつー)  
学生:深田佑哉、木田 晶、木戸口美幸、長江晟那、西出早希、古瀬千尋(4A)

\*今回は荷重60-65キロの間で崩壊するブリッジのデザインを競いました。



来年の開催場所は米子高専(鳥取県)でテーマは「かえる」です。